

長良川河口堰30年シンポジウム

～流域総合水管理から世界流域遺産（仮称）へ～

日時

令和8年3月15日（日）10:00～17:00

会場

ウィルあいち 3階 大会議室

プログラム

10:00～10:05 **開会挨拶**（大村 秀章 愛知県知事）

10:05～12:00 **韓国ナクトンガンの事例**

ナクトンガン河口における汽水生態系の回復（現状と主要課題）

K-water釜山地域事務所 河口統合運用部長 パク・ビョンウ 氏

ナクトンガン河口の帰還（ナクトンガン河口汽水生態系の復元と河口開放の歩み）

釜山広域市 河川管理課 課長補佐 パク・ジヨン 氏

ナクトンガン河口堰の開門と市民団体の社会的活動

洛東江河口汽水生態系復元協議会 共同代表 イ・ジュンギョン 氏

13:00～14:00 **健全な水循環・流域総合水管理**

健全な水循環・流域総合水管理

東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 蔵治 光一郎 氏

長良川河口堰運用30年の実績と今後

(独)水資源機構 揖斐川・長良川総合管理所 所長 荒川 敏之 氏

14:10～15:10 **環境、生態系、漁業資源**

長良川・伊勢湾の生態系の現状と課題

大阪公立大学 国際基幹教育機構 客員研究員 竹門 康弘 氏

木曽三川水系の生態系の現状と課題：流域総合水管理から“世界流域遺産”に向けて

岐阜協立大学 地域創生研究所所長 特任教授 森 誠一 氏

15:25～16:55 **意見交換**

テーマ① 日本と韓国の水循環基本法と水循環政策

テーマ② 河川と海の境界環境としての汽水・感潮域

16:55～17:00 **閉会挨拶**（駐名古屋大韓民国総領事館

チェ・ソンユ 副総領事）

総合司会 小島 敏郎 氏

本日の資料

本日の資料は、愛知県のWebサイトに掲載しています。
右のQRコードよりアクセスしてください。



←本日の資料
はこちらから

主催：愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会
後援：環境省、愛知県、駐名古屋大韓民国総領事館

【Wi-Fi】 SSID: will-aichi-3f-daikaigi
Password: will-3f-dai

出演者プロフィール



パク・ビョンウ 氏

K-water釜山地域事務所
河口統合運用部長

釜慶大学卒業、釜山国立大学土木工学修士・博士候補。2024年から慶尚南道貯水池・ダム安全管理委員会、釜山広域市水産業振興委員会（第3期）の委員を務める。受賞歴：公共水質管理功労賞（2025年）、四大河川再生プロジェクト功労賞（2011年）など。



パク・ジヨン 氏

釜山広域市河川管理課
課長補佐

洛東江河口堰の運用・開通、河口生態系の回復に関わる業務を担当。段階的活適応的な堰堤運用を通じて汽水環境を回復すること、洪水対策、塩水遡上防止、水質管理、生態系の回復を図ることに重点を置いている。



イ・ジュンギョン 氏

洛東江河口汽水生態系
復元協議会 共同代表

2011年釜山大学NGO大学院修了。洛東江流域水管理委員会（政策分科委員長）、国家水管理委員会などの委員を歴任。受賞歴：環境部長官賞（2003）、大統領賞（水環境保全功労）（2007）、環境部×SBS 水環境大賞（2020）。



蔵治 光一郎 氏

東京大学大学院
農学生命科学研究科 教授

1989年東京大学農学部林学科卒。専門は森と水の科学、森と水と人の関係。2003～16年に愛知県瀬戸市の東京大学演習林生態水文学研究所に勤務。著書に『緑のダムの科学－減災・森林・水循環』『森の「恵み」は幻想か－科学者が考える森と人との関係』など。



竹門 康弘 氏

大阪公立大学
国際基幹教育機構 客員研究員

理学博士（京都大学）。専門は水生昆虫・河川生態学。日本生態学会自然保護専門委員会委員、淀川水系流域委員会副委員長、賀茂川漁業協同組合理事、京の川の恵みを活かす会代表。著書に『棲み場所の生態学』『流砂環境再生』など。趣味は磯釣り、山菜採り、珈琲焙煎。



森 誠一 氏

岐阜協立大学
地域創生研究所所長 特任教授

理学博士（京都大学）。専門は魚類生態。日本魚類学会自然保護委員長や国交省河川整備基本方針小委員会、木曾川水系流域委員会、岐阜県長良川河口堰調査検討会などの委員を歴任。著書に『河川ダイナミクスの生態学』、『ナマズの博覧誌』（秋篠宮文仁親王と共編）など。



（プレゼンテーション）
荒川 敏之 氏

（独）水資源機構
揖斐川・長良川総合管理所 所長

1994年4月に水資源開発公団（現 独立行政法人水資源機構）に入社。九州、四国、北関東のダム建設所、本社ダム事業部、国交省水資源部（出向）、中部支社ダム事業課長、草木ダム管理所長を経て、2023年4月長良川河口堰管理所長、2025年4月の組織再編により現職。



（意見交換）
高橋 裕輔 氏

（独）水資源機構
中部支社 副支社長

1996年建設省（現・国土交通省）に入省。2011年国土交通省中部地方整備局河川部、2013年国土交通省水管理・国土保全局治水課、2018年愛知県建設局、2020年国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所、2022年内閣府、2024年独立行政法人水資源機構中部支社に勤務。

【注意事項】

- ※会場等の秩序を乱す行為、運営を妨害する行為は禁止します。
- お守りいただけない場合は、退席していただく場合があります。
- ※撮影・録音をご希望の方は、受付にて申請書兼許可証にご記入のうえ、許可条件を遵守ください。

【お問合せ】愛知県建設局水資源課

TEL：052-954-6121 MAIL：mizushigen@pref.aichi.lg.jp

アンケートにご協力ください

